
EC向け物流システムのロジレスが資金調達

Edited By LogisticsToday On 2019/02/26

EC事業者向けにSaaS方式で受注・在庫・出荷管理システム「ロジレス」を提供するスタートアップのロジレス（東京都豊島区）は26日、500スタートアップスジャパン（千代田区）から5000万円のシード資金を調達したと発表した。調達資金は製品の機能強化や提携物流倉庫の拡大に充てる。

同社のシステムは受注管理、在庫管理、出荷作業などの一連の業務を1つのシステムで管理できるEC事業者向けのサービスで、受注管理システム（OMS）と倉庫管理システム（WMS）の両方の機能を一体型として開発。EC事業者は「バックヤード業務をすべてロジレスに集約」することが可能で、データ連携の手間をかけずに利用できる。

また、ロジレスを使って出荷業務を外注化することで、注文のあった商品が自動で出荷される「自動出荷」や、出荷拠点を分散させ、商材・配送先・配送方法などに応じて、最適な場所から出荷できる「複数拠点出荷」などにも対応。

今後は「受け皿」となる物流倉庫の選択肢を増やし、受託可能なスペースを拡大することが課題になるが、今回の資金調達で製品の機能強化と併せ、EC事業者がロジレスを利用できる物流倉庫の拡大を進める。

■ロジレスの概要

<https://www.logiless.com/>

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/336569>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.